

お知らせ



令和4年2月18日
 京都市産業観光局
 (担当：中央卸売市場第二市場)
 (TEL: 075-681-5791)

牛肉輸出が拡大しています！

京都市中央食肉市場からの牛肉輸出状況(令和3年)について

令和3年の日本の農林水産物・食品の輸出額の年間合計額が初めて1兆円を超えました。その中でも牛肉の輸出が好調で、輸出額は536億円で対前年比85.9%増、輸出量は7,879 tで対前年比62.6%増(令和3年1月～12月実績)となりました。

京都市中央食肉市場では、牛肉輸出に積極的に取り組んでおり、全国に10箇所ある食肉の中央卸売市場として初めてアメリカ・EU向けの輸出認定を取得しました。令和3年の輸出実績は、輸出額6億8千万円で対前年比151.5%増、輸出量は100 tで対前年比118.2%増(令和3年1月～12月実績)となり、市場からの輸出が拡大しましたので、お知らせします。今後も牛肉の輸出促進に向けて取り組んでまいります。



市場から出荷された牛肉

1 京都市中央食肉市場の牛肉輸出実績(期間：1月～12月)

(単位：千円, kg)

相手国	項目	令和2年	令和3年
タイ	金額	19,199	5,655
	重量	3,254	831
マカオ	金額	33,432	45,960
	重量	5,666	6,758
シンガポール	金額	211,214	386,702
	重量	35,799	56,868
アメリカ	金額	1,741	142,033
	重量	295	20,887
EU	金額	6,686	104,315
	重量	1,133	15,340
合計	金額	272,273	684,667
	重量	46,148	100,686

シンガポール、アメリカ、EU向けの輸出が本格化することで、輸出量が大幅に増加。

※ 単位未満の数を切り捨てているため、合計と内訳は一致しない。

※ 輸出金額は日本の牛肉の輸出金額と重量から計算した平均単価で試算したもの
 (R2: 5,900 円/kg, R3: 6,800 円/kg)。

■全国と京都の輸出量の比率（期間：1月～12月）

	伸び率（R2年→3年）	
全国	62.6%	(4,844t→7,879t)
京都	118.2%	(46t→100t)

アメリカ、EU向けの輸出認定施設は、近畿に2箇所しかないため、全国よりも高い伸び率となっている。

2 取組経過

- 平成30年3月 「京都市中央食肉市場和牛輸出戦略」(※)の策定
- 4月 京都市中央食肉市場新施設を本格稼働
- 11月 タイ、マカオの牛肉輸出施設の認定取得
- 平成31年2月 輸出第1号をタイへ出荷
- 令和2年1月 アメリカの牛肉輸出施設の認定取得
- 3月 シンガポールの牛肉輸出施設の認定取得
- 4月 EUの牛肉輸出施設の認定取得
- 8月 EU向け初輸出
- 11月 アメリカ向け初輸出
- 令和3年2月 香港の牛肉輸出施設の認定取得
- 5月 台湾の牛肉輸出施設の認定取得

※ 京都市中央食肉市場和牛輸出戦略（概要）

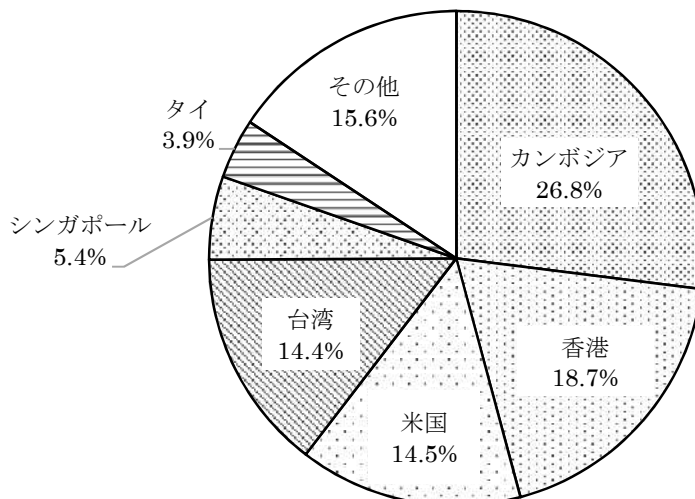
高品質でおいしい和牛を京都から世界へ提供するために、市場関係者の協働の方策や、輸出認定を取得する国やスケジュール、輸出目標数量を定めたもの。計画期間は平成30年から5年間。計画最終年度の目標輸出重量38.5tを前倒しで達成。

(HP) <https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000235667.html>

【参 考】牛肉の主要な輸出先国・地域

京都市中央食肉市場では、牛肉の主要な輸出先国・地域（香港、米国、台湾等）の認定を全て取得しています。

令和2年 日本の牛肉輸出先別割合（金額ベース）



※農林水産省「農林水産物輸出入概況2020年」を基に作成。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku_gaikyou.html

※カンボジアは認定制度がなく、輸出者が直接相手国と手続きを行う。